

と思います。

重点施策

本年は、これらをもとに、市制施行50周年に向けて最初の一步を踏み出す年であり、昨年9月に締結した定住自立圏の形成に関する協定における連携事業を『共生ビジョン』に基づいて進める年でもありますので、当市の将来に向けて新たなスタートの年にならざるを得ないと思えます。

決意を新たに、さらに市民の皆さんとの直接対話を重ねながら、これまで以上にスピード感を持ち、力強く市政に取り組んでまいります。私の掲げる平成23年度の重点施策は、次の3点であります。

1点目は

『安心を感じる』

まちづくり』

について

2点目は

『活気が溢れる』

まちづくり』

について

3点目は

『担い合う』

まちづくり』

について

以上、3点を重点施策とします。

安心を感じる

まちづくり

最初に『安心を感じるまちづくり』についてであります。

市民の皆さんが生涯にわたり安心感を持って暮らすことのできるまちづくりを進めるには、防災対策、消防力の向上などのほか、都市基盤整備や環境対策、保健福祉の充実などに取り組む必要があります。

防災対策・消防力の向上

防災対策につきましては、市民の皆さん自らが災害や防災に対する意識を高めていただくため、防災研修会や防災訓練を実施し、町内会や自

主防災組織の育成に継続して取り組むとともに、各種関係機関などにも参加いただく総合防災訓練を実施してまいります。

また、災害時要援護者避難支援事業の推進や、災害時における相互応援体制を西胆振3市3町の広域で構築するなど、新たな防災体制の構築を進め、一層の強化を図ってまいります。

公共施設などの耐震化につきましては、多くの市民の皆さんが利用する市内の各公共施設や、子どもたちが学ぶ学校施設などへの対応が急務となっております。引き続き、これら施設の耐震診断に取り組むとともに、

小・中学校各1校の体育館の耐震補強工事を実施してまいります。

消防・救急体制については、今後の消防の広域化に向けた実践的な検討を進めるとともに、道路網の整備に伴う都市機能の変化に対応した消防機能・消防施設機能のあり方について検討を進め、消防力や救急体制の充実・強化を図ってまいります。

